

科目名	成人看護学概論 Introduction to Adult Nursing		担当教員 (研究室番号)	玉田 章 (307) 大川 明子 (305)	教員への連絡方法 (メールアドレス)	玉田:akira.tamada@mcn.ac.jp 大川:akiko.okawa@mcn.ac.jp					
履修年次	2年次前期	科目区分	専門科目・生涯看護学	選択区分	必修	単位数(時間)	1(15)	授業形態	講義	科目等履修生	否
										オープンクラス	否
科目目的	成人期にある人を成長発達・生活環境と健康について多面的な視点から理解し、成人期の健康課題の特徴および様々な健康レベルにある成人(個人・家族・集団)に対する看護の概念について学習する。										
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	C その時代の社会情勢や、人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探求する姿勢を身につけている。(興味・関心・意欲)									
	関連するDP	E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。(知識・理解)									
到達目標	1. 成人期にある人の身体的心理的社会的特徴、生活と健康課題について理解することができる。 2. 成人保健の動向をふまえて、成人期にある人々の健康障害の特性とその要因について理解することができる。 3. 成人への看護アプローチの基本的な概念と成人看護学に用いられる様々な理論について理解することができる。 4. 急性期、回復期、慢性期、終末期の疾病経過に応じた看護について理解することができる。 5. 生命の危機的な状況にある重症患者とその家族の特徴について理解することができる。 6. 手術を必要とする患者の基本的な特徴と看護について理解することができる。										
成績評価方法(基準)	試験(100%)										
再試験の有無と基準等	科目の可否結果で不合格となった者には、当該学生からの申請により再試験を実施する。再試験は、筆記試験とし、それまでのレポート課題は加味しない。										
教科書	成人看護学総論(医学書院)										
参考書等	講義の中で提示する。										
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	自己を含めた、身の回りの成人期の人々の特性や健康に関する動向を理解しながら、常に疑問を持ち、その解決のために批判的に思考する態度と自分の意見を論理的に述べていく態度や行動を期待します。										
備考	この科目は成人看護方法ⅠおよびⅡの先修条件となっている。										
回	学習項目				学習内容				主担当教員	授業方法	
1回	成人看護学の概念 成人期にある人の理解				成人看護学の特性 成人期の成長・発達、個人・家族の生活について学ぶ。 成人期における生活状況と健康課題の特徴について学ぶ。				大川	講義	
2回	成人期にある人々の健康障がいの特徴①				成人保健の動向(生と死の動向、受療状況、生活習慣病、自殺、職業関連疾患、感染症など)を概説する。				大川	講義	
3回	成人期にある人々の健康障がいの特徴②				成人期における生活行動がもたらす健康問題とその予防について学ぶ。 保健・医療・福祉システムの概要と連携について学ぶ。				大川	講義	
4回	成人期にある人々の看護アプローチの基本				健康行動と大人の学習と支援、患者・看護師関係、意思決定支援、家族支援などについて学ぶ。				大川	講義	
5回	健康障がいを持つ成人への看護①				疾病経過による患者の特徴と基本的な看護のあり方を概説する。 (急性期、回復期)				玉田	講義	
6回	健康障がいを持つ成人への看護②				疾病経過による患者の特徴と基本的な看護のあり方を概説する。 (慢性期、終末期)				玉田	講義	
7回	健康障がいを持つ成人への看護③				生命の危機的な状況にある患者と家族の特徴と基本的な看護のあり方を概説する。また、手術療法を受ける患者の特徴についても概説する。				玉田	講義	
8回	成人看護学で用いられる看護理論等				成人看護に利用される理論・モデルについて概説し、その活用について学ぶ。(ニード論、セルフケア理論、危機理論等)				玉田	講義	

学 習 課 題	
1回目の課題(事後)	成人期の発達段階別に身体的精神的社会的な特徴、各期の健康課題についてまとめておく。(提出不要)
4回目の課題(事後)	成人期の生活習慣に関連した健康問題と、看護アプローチについてまとめておく。(提出不要)
7回目の課題(事前)	クリティカルケアとは何か 危機的な状況の患者に行う受動的対処段階における「危機介入」について 事故を予防し、安全に看護業務を遂行するための考え方や行動について ICUに入院した患者の「家族のニード」について 吸収熱(術後熱)の原因を調べる。 (提出不要)

実務経験を活かした教育の取組
・担当教員2名は看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験や研究成果を活かして本授業の講義を行う。